

「夏休み子ども落語会」が26日、佐世保市宮地町の市立図書館で

子ども噺家に喝采

聴衆100人 佐世保で落語会

「緊張したけど楽しかった」



会場を沸かせた子ども落語会

あった。小学生から社会人までの6人の「噺家」が、けいこを重ねた話芸で会場を沸かせた。

夏休みの主役の子どもたちが活躍し、子どもも大人も元気になる企画として昨年からはじめた。出演者は「佐世保かっちゃん落語っ子」に所属し、部活動

や習い事の合間を縫ってけいこしている。

古川万葉さん（広田小3年）は「落とし物」の演目で「寿限無」を応用した噺を披露。朝長心さん（佐世保北中2年）は「あの電車は全車両に芝生が生えてるね」「うん、あれは特急みどりだから」など、10秒前後の小話

を二つ演じ、会場を埋めた100人を越える聴衆から盛んな喝采を浴びていた。

この日が初舞台だった藤田乙吉さん（大久保小5年）は「緊張したけどうまくいった。みんなを笑わせることができると落語は楽しい」と話していた。

【綿貫洋】